

## 2008年2月の東北地方の天候

### 【2月の特徴】

- 少雪、東北太平洋側の少雨
- 東北日本海側の寡照

#### (1) 2008年2月の概況

上旬や下旬には低気圧が短い周期で日本付近を通過し、天気は数日の周期で変化した。中旬は冬型の気圧配置が強まり、寒気が南下し気温の低い日が多くなった。月を通してみると、東北日本海側を中心に曇りや雪または雨の日が多くなったため日照時間は少なく、また、日本海や本州南岸を通る低気圧の影響は小さかったため、東北太平洋側を中心に降雪量・降水量は少なかった。

月平均気温は東北地方で平年並。月降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。月間日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。降雪の深さの月合計平年比は、東北日本海側は80%で少なく、東北太平洋側は44%でかなり少ない。

#### (2) 各旬の天候経過

**上旬**：低気圧が数日の周期で通過した。冬型の気圧配置となる日は少なく、東北日本海側でも晴れの日があった。東北太平洋側では天気は数日の周期で変化した。

平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北北部でかなり少なく、東北南部で多い。日照時間は東北日本海側で多く、東北太平洋側で少ない。

**中旬**：冬型の気圧配置が続き、東北日本海側では雪の日が多くなった。東北太平洋側では沿岸部を中心に晴れの日が多くなった。

平均気温は東北北部で平年並、東北南部で低い。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で多い。

**下旬**：日本付近を低気圧が短い周期で通過し、低気圧の通過後は冬型の気圧配置となった。東北日本海側では曇りや雪の日が続き、東北太平洋側でも雪の降る日があった。23日、26日には寒冷前線が通過し、その後強い冬型の気圧配置となったため、各地で強風となり、看板の落下や交通障害などの被害が発生した。

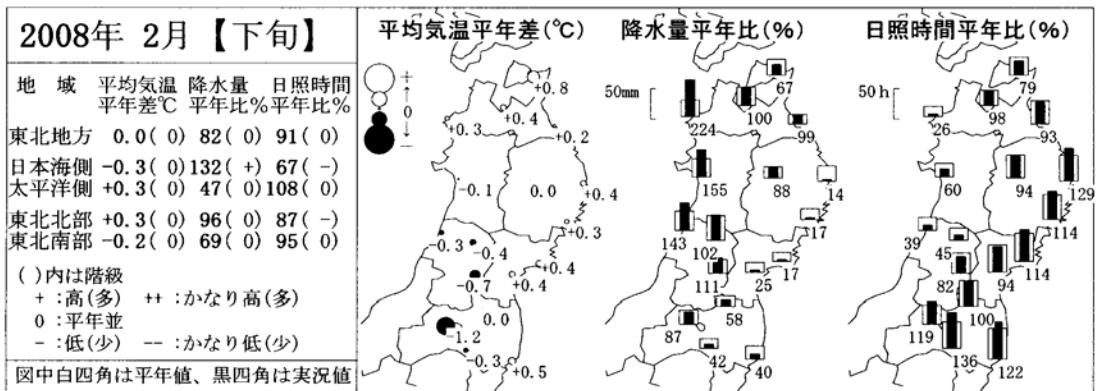
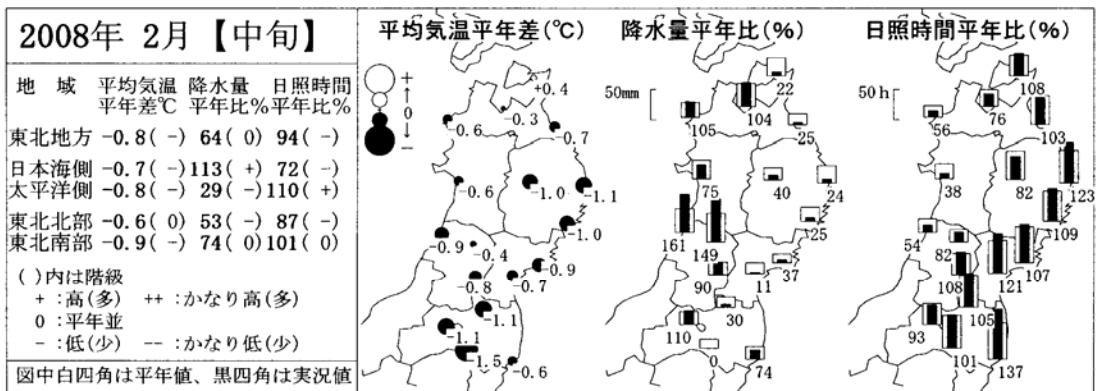
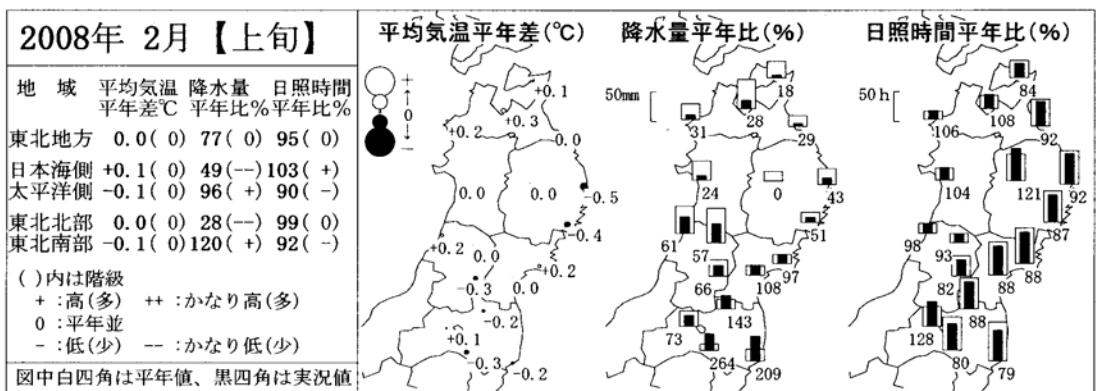
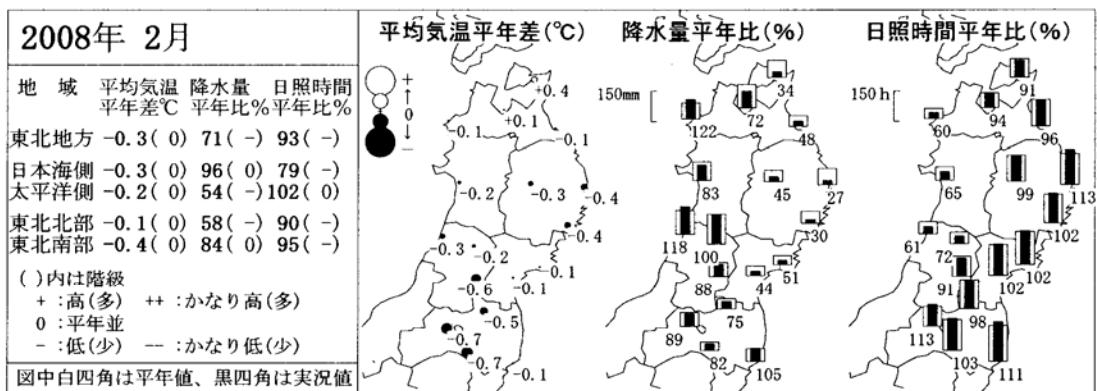
平均気温は東北地方で平年並。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側で平年並。日照時間は東北日本海側で少なく、東北太平洋側で平年並。

注) 気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。細分地域については2ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は1971-2000年です。階級区分については、3ページ目脚注2を参照して下さい。

本件に関する問い合わせ先：仙台管区気象台技術部気候・調査課統計係（電話：022-297-8110）

(3) 2008年2月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



平年値の統計期間は1971~2000年。

注1) 細分地域

東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

#### (4) 2008年2月の月気候表

地 点 名	平均気温(平年差)		降水量(平年比)		降水日数	日照時間(平年比)		降雪深さ(平年値)	階級	最深積雪(平年値)	階級
	(°C)	(°C)	(mm)	(%)		≥1mm	(h)	(%)			
青 森	-1.0	( +0.1)	○	83.5 ( 72)	-	21	68.2 ( 94)	○	122 ( 205)	-	82 ( 111)
深 浦	-0.3	( -0.1)	○	94.5 (122)	+	14	29.3 ( 60)	-	74 ( 114)	-	31 ( 42)
む つ	-1.1	( +0.4)	○	29.0 ( 34)	-*	11	83.7 ( 91)	○	75 ( 160)	-*	20 ( 66)
八 戸	-1.0	( -0.1)	○	25.5 ( 48)	-	6	126.8 ( 96)	○	43 ( 103)	-*	13 ( 28)
秋 田	0.0	( -0.2)	○	76.5 ( 83)	-	15	42.7 ( 65)	-*	104 ( 120)	○	18 ( 37)
盛 岡	-1.9	( -0.3)	○	24.5 ( 45)	-	7	127.5 ( 99)	○	18 ( 98)	-*	23 ( 33)
大 船 渡	0.5	( -0.4)	○	17.5 ( 30)	-	4	144.9 ( 102)	○	5 ( 27)	-*	2 ( 9)
宮 古	-0.1	( -0.4)	○	21.5 ( 27)	-	4	171.3 ( 113)	+	5 ( 72)	-*	3 ( 29)
仙 台	1.6	( -0.1)	○	21.5 ( 44)	-	5	154.2 ( 102)	○	13 ( 31)	-	8 ( 13)
石 卷	0.8	( -0.1)	○	22.5 ( 51)	○	4	166.6 ( 102)	○	13 ( 24)	○	11 ( 13)
山 形	-0.8	( -0.6)	-	61.5 ( 88)	○	13	90.6 ( 91)	-	123 ( 147)	-	40 ( 46)
新 庄	-1.2	( -0.2)	○	145.0 (100)	○	24	40.6 ( 72)	-	225 ( 242)	○	119 ( 123)
酒 田	1.1	( -0.3)	○	135.5 (118)	+	25	36.5 ( 61)	-	97 ( 119)	○	22 ( 30)
福 島	1.3	( -0.5)	○	37.5 ( 75)	○	10	141.1 ( 98)	○	48 ( 73)	-	8 ( 18)
若 松	-1.1	( -0.7)	-	62.5 ( 89)	○	16	109.9 ( 113)	+	137 ( 160)	○	45 ( 46)
白 河	-0.2	( -0.7)	○	34.0 ( 82)	○	5	157.4 ( 103)	○	65 ( 51)	+	28 ( 14)
小 名 浜	3.6	( -0.1)	○	65.0 (105)	○	7	194.9 ( 111)	+	1 ( 7)	○	1 ( 4)

(注) 1. 年平均値は1971～2000年の資料から求めた。

2. 「階級」の記号の意味は以下のとおり。

+:高い(多い) ○:年平均 -:低い(少ない)

各階級の区分値は、1971～2000年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる(各階級が10個ずつになる)ように決めた。

また、値が1971～2000年の観測値の上位または下位10%に相当する場合には階級の「+」に\*を付加した。この場合には

かなり高い(多い) かなり低い(少ない)

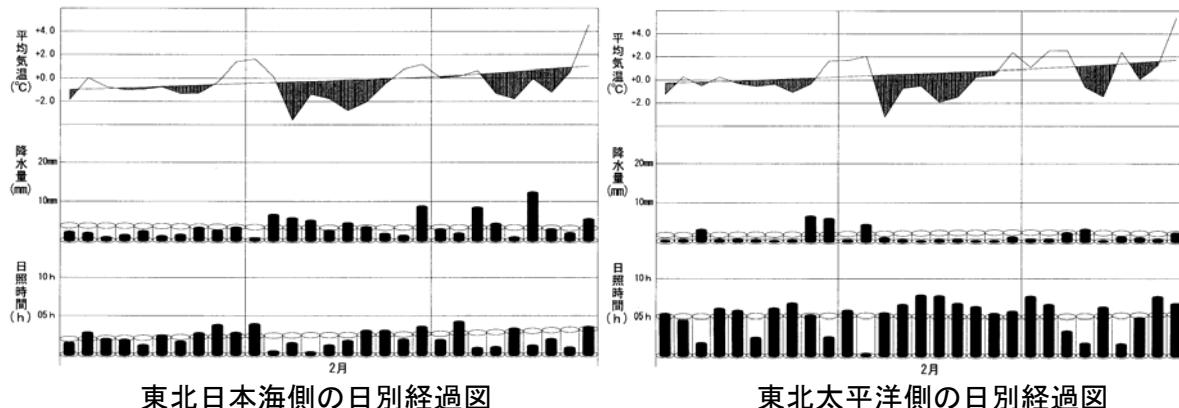
と表現できる。

また「降雪の深さ」と「最深積雪」の「階級」は年平均値が「1cm」以上の場合のみ表示した。

3. 値の横に)や]がある場合には、月別値を求める際に使用したデータ(日別値)に欠測等が含まれていることを示す。)付きの値(準完全値)は通常のものと同様に扱うことができるが]付きの値(資料不足値)については、値の下に記載した統計日数(統計に用いた、品質が十分な日別値の数)を参考にして、品質を確かめてから使用されたい。

なお、日別値がすべて欠測のため値が求められない場合は「×」とした。

#### (5) 2008年2月の日別経過図



気象官署の日別観測値と日別年平均値の地域平均(気温:実線と点線、降水量・日照時間:黒い円柱と白抜き円柱)

## (6) 2008年2月の極値・順位の更新

月平均気温高い方からの順位更新

3位以内はなし

月平均気温低い方からの順位更新

3位以内はなし

月降水量多い方からの順位更新

3位以内はなし

月降水量少ない方からの順位更新

順位	地点名	降水量 mm	平年比 %	これまでの最小 mm (西暦年)	開始年	平年値 mm
3	むつ	29.0	34	23.5 (1980)	1935	84.9

月間日照時間多い方からの順位更新

3位以内はなし

月間日照時間少ない方からの順位更新

3位以内はなし

降雪の深さ月合計値多い方からの順位更新

3位以内はなし

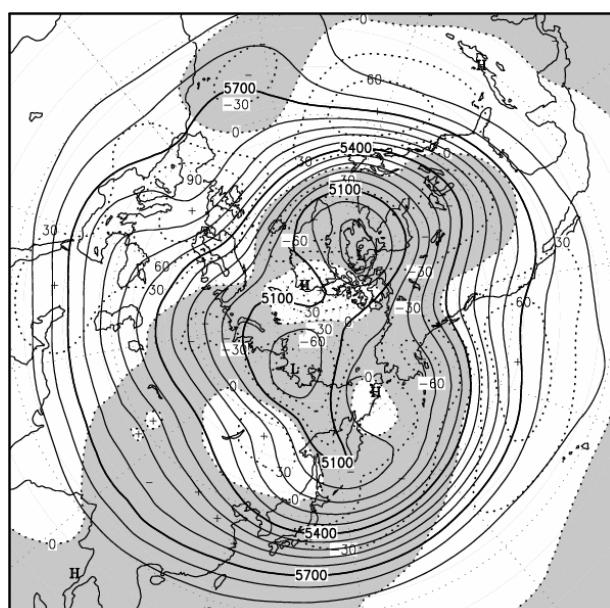
月最深積雪大きい方からの順位更新

3位以内はなし

(注) 平年値とは1971~2000年の30年間の値を平均したものである。

## (7) 2008年2月の循環場の特徴

日本列島から東海上で負偏差、バイカル湖付近から沿海州にかけ正偏差と、冬型の気圧配置が平年より強かったことを示している。また、中央アジアから日本の南海上にも負偏差域が大きく広がり、東アジアでは低緯度まで寒気が南下したが、日本付近への寒気の南下は西回りだったため、東北地方への冬型の気圧配置による影響は小さかった。



2008年2月の平均500hPa高度

実線は等高度線: 60m毎、点線は偏差: 30m毎  
陰影部は負偏差 (寒気に対応)